

神苑

神苑の決意

2 月 24 日 県民投票

辺野古埋め立て「反対」の圧倒的な民意が示される

新基地建設は不可能だ

神苑の決意 主筆 木川 智

■ 沖縄が繰り返し示し続けてきた民意

〔主張〕 二月二十四日、沖縄県で辺野古新基地建設に関する埋め立ての是非を問う県民投票の投票票が行われ、「反対」が約四三万四〇〇〇票を得た。政府が強行する辺野古新基地建設について、あらためて沖縄県民の「反対」の圧倒的な民意が示されたことになる。なお投票率は五二・四八%、「反対」の得票率は七二・一五%であった。

デニー知事は、この民意を背景として再び埋め立て承認を撤回することもありえる。前回は沖縄県による承認撤回の「効力停止」を用いて工事を強行し

た政府だが、この民意を前に同じ手口を用いることができるだろうか。県民投票の結果は、日米両政府に通知される。両政府は、沖縄の人々の声に耳を傾け、この民意を尊重しなければならない。

もし政府が工事を強行したとしても、この民意は様々なかたちで実力となって工事を阻止することになるだろう。新基地建設は不可能である。新基地は完成しない。まさしく「民衆の憎しみに包囲された軍事基地の価値はゼロに等しい」（沖縄人民党瀬長亀次郎）のである。

県民投票の結果について、開票結果を待つまでもなく、多くの人が「反対」の圧倒的な民意が示されるものと確信していただろう。そして、県民投票の期間中、示されるであろう圧倒的な民意は政府と米国に通知され、尊重されなければならないという思いを共有していただろうが、菅義偉官房長官は二月四日、「県民投票がどのような結果であろうと新基地建設はすすめる」という趣旨の発言し、県民投票を

本号の内容

〔主張〕 辺野古埋め立て「反対」の圧倒的な民意が示される新基地建設は不可能だ（木川智）：1 / 〔視点〕 このたびの皇位継承に伴う「退位礼正殿の儀」と「剣璽等承継の儀」のあり方に対する批判をただす（西山徹）：5 / 〔連載〕 アジア放浪記―歴史を掘り起こし日本を見る タイ編①（仲村之菊）：7 / 一月二月活動報告：8 / 〔談話室〕 天皇陛下御在位三〇年「だんじよかれよしの歌声の響」（木川智）：15 / お知らせ・編集後記：16

1 部 1000 円
(別途送料 160 円)